

# ⑩南高野古墳

揖斐郡池田町片山字南高野



南高野古墳 遠景



石室 天井石

「カタヅケ」とは  
追葬（2回目以降の埋葬）の際に、前に  
埋葬したときに入れた副葬品を別の場所  
によせてまとめること



時期	6世紀後半
墳形	円墳
規模	直径22m
埋葬 主体部	横穴式石室

さんろく せんじょうち  
南高野古墳は池田山山麓の扇状地に立地する。石室の全長  
は10mを超え、玄室の内面に赤色顔料が塗られた「赤彩古墳」  
である。石室内で「カタヅケ」の行為が見られたことから、  
少なくとも2回の埋葬が行われたと考えられる。